



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年6月13日

いわき市長 殿

提出者

住 所 いわき市泉町下川字大剣399-5
 氏 名 荒川化学工業株式会社 小名浜工場
 工場長 寺奥 裕記

電話番号 0246-56-7731

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	荒川化学工業株式会社 小名浜工場
事業場の所在地	福島県いわき市泉町下川字大剣399-5
事業の種類	化学工業・他に分類されない化学工業製品製造業(1699)
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,193t	全処理委託量	434t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	214t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	434t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1,300t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 磨プラスチック類)	
不要物等発生量	有償物量	① 排出量 56.0t	② 自ら直接 再生利用した量 0t
		③ 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 0t	④ 自ら中間処理した量 0t
		⑤ 自ら熱回収を行った量 0t	⑥ 自ら中間処理した 後の残さ量 0t
		⑦ 自ら中間処理により減量し た量 0t	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量 0t
		⑨ 自ら中間処理により 減量した量 0t	⑩ 直接及び自ら 中間処理した後の 処分委託量 56.0t
		⑪ 全処理委託量 56.0t	⑫ ⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 23.6t
		⑫ 再生利用業者への処理 委託量 0t	⑬ ⑪のうち熱回収認定 業者への処理委 託量 0t
		⑭ ⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 0t	⑮ ⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 23.6t
		⑯ ⑮のうち熱回収認定 業者への処理委 託量 0t	

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 磨耗及び磨アルカリ)	
不要物等発生量	有償物量	① 排出量 1385.0t	② 自ら直接 再生利用した量 0t
③ 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 0t	④ 自ら中間処理した量 1385.0t	⑤ ④のうち 熱回収を行った量 0t	⑥ 自ら中間処理した 後の残さ量 0t
⑦ ⑤自ら熱回収を行った量 0t	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量 0t	⑨ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分した量 0t	⑩ 直接及び自ら 中間処理した後の 処分委託量 0t
⑪ ⑦自ら中間処理により減量し た量 1385.0t	⑫ ⑪のうち再生利用した量 0.0t	⑬ ⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0t	⑭ ⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 0t
⑫ ⑪のうち優良認定 業者への処理委託量 0.0t	⑮ ⑫のうち優良認定 業者への処理委託量 0t	⑯ ⑯のうち熱回収認定 業者以外の熱 回収を行う業者への 処理委託量 0t	⑰ ⑯のうち優良認定 業者への処理委託量 0.0t

(第2面)

計画の実施状況		廃油)
(産業廃棄物の種類:			
不要物等発生量	有償物量		
①	排出量	68.6t	
②	自ら直接 再生利用した量	0t	
③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0t	
④	自ら中間処理した量	0t	
⑤	自ら熱回収を行った量	0t	
⑥	自ら中間処理により 減量した量	0t	
⑦	自ら中間処理を行った量	0t	
⑧	自ら中間処理した後 再生利用した量	0t	
⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0t	
⑩	直接及び自ら 中間処理した後の 処分委託量	68.6t	
⑪	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	68.6t	
⑫	⑩のうち再生利用業者への 処理委託量	0t	
⑬	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0t	
⑭	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	
⑮	(第2面)		

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 燃えやすい廢油)
不要物等発生量	有償物量	
	排出量	① 352.1t
	自ら直接 再生利用した量	② 0t
	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③ 0t
	自ら中間処理した後 の残さ量	④ 0t
	自ら中間処理した後 の残さ量	⑥ 0t
	自ら中間処理により 減量した量	⑦ 0t
	自ら中間処理を行った量	⑤ 0t
	自ら熱回収を行った量	⑧ 0t
	自ら中間処理した後 は海洋投入処分した量	⑨ 0t
	直接及び自ら 中間処理した後の 処分委託量	⑩ 352.1t
	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑪ 351.2t
	⑫のうち優良認定 業者への処理委託量	⑫ 0t
	⑬のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行った業者 への処理委託量	⑬ 0t
	⑭のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑭ 0t
	⑮のうち再生利用 業者への処理委託量	⑮ 0t
	⑯のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行った業者 への処理委託量	⑯ 351.2t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

污泥

1

有貨物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量	②	0t
-----------------	---	----

254.9t
① 排出量

項目	実績値
①の排出量	254.9t
②+③自ら再生処理を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0t
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	254.9t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	190.7t
⑫再生利用業者への処理委託量	254.9t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量総額	0t

自ら直接 再生利用した量	② 0t
自ら直接 海洋投入処分した量	③ 0t

自ら中間処理した量	自ら中間処理した後 の残さ量
(4) 0.0t	(6) 0.0t
④のうち 熱回収を行った量	自ら中間処理により 測量した量
(5) 0t	(7) 0.0t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ 0t

<p>(12) 254.9t</p>	<p>(10) うち熱回収認定 業者への処理委託量 (13) 0t</p>	<p>(10) うち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行なう業者への 処理委託量</p>
<p>自ら中間処理した後 自ら埋立て処分又は 海上投入処分した量</p> <p>(9) 0t</p>	<p>直接及び自ら 中間処理した後の 処分委託量</p> <p>(10) 254.9t</p>	

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	(1)	190.7t
-----------------------------	-----	--------

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)
不要物等発生量	有償物量	
① 排出量	② 自ら直接 再生利用した量	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量
③ 0t	④ 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨ 自ら中間処理した後 海洋投人処分した量
⑤ 0t	⑥ 自ら中間処理した量 後の残さ量	⑩ 自ら中間処理した後 直接及び自ら 中間処理した後の 処分委託量
⑦ 0t	⑧ 自ら熱回収を行った量	⑪ 1.6t
⑨ 0t	⑩ 自ら中間処理により 減量した量	⑫ 1.6t
⑩ 0t	⑪ 自ら熱回収を行った量	⑬ 0t
⑪ 0t	⑫ 自ら中間処理により 減量した量	⑭ 0t
⑫ 0t	⑬ 自ら中間処理した後 業者への処理委託量	⑮ 0t
⑬ 0t	⑭ 自ら熱回収認定 業者以外の 熱回収を行った量	⑯ 1.3t
⑭ 0t	⑮ 自ら熱回収認定 業者への処理 委託量	⑰ 1.6t
⑮ 0t	⑯ 自ら熱回収認定 業者への処理 委託量	⑱ 0t
⑯ 0t	⑰ 自ら熱回収認定 業者以外の熱 回収を行った量	⑲ 1.3t

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 木くず)
不要物等発生量	有償物量	
		自ら直接 再生利用した量 ② 0t
排出量	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③ 0t	自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧ 0t
項目	実績値	自ら中間処理した後 海洋投入処分した量 ⑫ 86.2t
①の排出量	86.2t	自ら中間処理した量 後の残さ量 ④ 0t
②+③自ら再生処理を行った量	0.0t	自ら中間処理により 減量した量 ⑥ 0t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0t	自ら中間処理により 減量した量 ⑦ 0t
⑦自ら中間処理により減量し た量	0.0t	直接及び自ら 中間処理した後の 処分委託量 ⑨ 0t
③+⑨自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量	0.0t	自ら中間処理した後 熱回収を行った量 ⑪ 0t
⑩全処理委託量	86.2t	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 ⑭ 0t
⑪優良認定処理業者への処 理委託量	0.0t	⑩のうち優良認定 業者への 処理委託量 ⑮ 0t
⑫再生利用業者への処理委 託量	86.2t	
⑬熱回収認定業者への処理 委託量	0.0t	
⑭熱回収認定業者以外の熱 回収を行う業者への処理委 託量総 合	0.0t	

(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類:

ばいじん)

(産業廃棄物の種類)

有償物量

不要物等發生量

②	自ら直接 再生利用した量	0t
---	-----------------	----

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧	0t
----------------------	---	----

項目	実績値
①の排出量	0.0t
②+⑧自ら再生処理を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海上投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	0.0t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量総額	0t

自ら中間処理した量	<input type="radio"/> ④ 0t
④のうち 熱回収を行った量	<input type="radio"/> ⑤ 0t

自ら埋立て処分又は 海洋投入処分した量	⑨ 0t	
		直接及び自ら 中間処理した後の 処分委託量

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品)	
① 排出量	実績値 0.0t	② 自ら直接 再生利用した量 0t	③ 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 0t
④ 自ら中間処理した量 0t	⑤ 自ら熱回収を行った量 0t	⑥ 自ら中間処理した後 の残さ量 0t	⑦ 自ら中間処理により 減量した量 0t
⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量 0t	⑨ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 0t	⑩ 直接及び自ら 中間処理した後の 処分委託量 0t	⑪ ⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0t
⑫ ⑪のうち再生利用業者への 処理委託量 0t	⑬ ⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0t	⑭ ⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 0t	⑮ ⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 0t
⑯ 不要物等発生量	有償物量	⑰ 自ら中間処理した後 再生利用した量 0t	⑱ ⑰のうち再生利用業者への 処理委託量 0t

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。